

第4期 事業計画書

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

NPO 法人あったかいいねっと

1 事業実施の方針

(1) 共生型デイサービス事業（3年目）について

令和2年10月。オープンから3年目に入り、日別利用者数12～14名と利用者も増え、皆様に喜んで通所してもらおうデイサービスとなっている。

共生型デイサービスの特徴である「障がい児者・高齢者が同じ場所で過ごす」ことにより、利用者相互の助け合いが自然に生まれ新しい役割や生きがいとなっている。各々の喜びとなっている場面が日々増え、3年目の現在では職員が介入せずとも互いを認め合い良い所を引き出し支え合って過ごすことが出来てきている。今後は、より一層質の高い個別ケアが行えるよう個別プランを細分化して個々の能力を最大限引き出す取り組みを更に実施していく。障がい児者と高齢者が互いを理解し受け入れ、より良い関係が作れるような支援を継続する。そして互いの固定観念や先入観を良い意味で覆すような新たな取り組みも提案実施していく。

令和2年春より試験的導入をした「あったかポイント制」だが、意識的に自分の出来る事を行い人の役に立つことの喜びを感じ、役割・仕事に対する良い循環が出来つつある。ポイント還元で楽しみの創出、高齢者と障がい者間にある経済格差の是正や利用者本人の経済的負担軽減なども図ることが出来ている。今後は規程など検討しこの制度を整えていく。

また、養護学校の実習生の受け入れを令和2年10月に行い好成果を得た。障がいを持つ若い世代にこそ共生型デイサービスで過ごす経験が必要であり、この子らの将来の可能性を広げることを実感した。今後は障がい児や若い世代の障がい者の受け入れを増やせるようサービスメニューや支援体制を強化し、共生型で過ごす意味、生きる力の育成が出来る事など丁寧に伝える広報活動もしていきたい。

デイサービスの質を上げるためにも、デイ利用者数も安定して来た今、再び常勤職員を増やし、常勤にかかる業務負担（計画作成評価など）の軽減、分断できるよう有資格者を雇用していきたい。令和2年11月、社労士委託契約し、就業規則・賃金見直しをし、常勤・パートともに福利厚生・賃金改正を図り、令和3年4月施行の同一労働同一賃金制への準備を進める。

経営的には、地域の中にも「共生型デイサービス」が定着しつつあり、昨年1月より土曜営業も開始し、現在日々の利用者12～14名となり、利用希望を断

らなければならない曜日もありうれしい限りだが、デイ収益の上限が見えてきている。

共生型で質を高めていくためには国の指針以上の人員配置が必要だが更なる収益増を図らなければ手厚い人員配置は難しい。令和3年4月の報酬改定を待つほか、先ず介護福祉士等資格を有する常勤職員配置を増やし質を高めるとともに、今まで力を尽くしてくれてきたパート職員さんの雇用を守るためにも、今後事業所として営業時間の見直し（火曜と土曜の時間延長）、加算の見直し取得を行い収益増を図る必要がある。

（２）サロン活動について

3期は、予想外のコロナ感染症拡大により当初計画の半分が実行できなかった。

4期は、3期までのサロン活動①から見えてきた新たな地域課題に対し、下記のプロジェクトなどの取り組み②～④を中心に行い、5期につながる新規事業の立ち上げが出来るよう視野に入れ活動を行う。⑤そのほか目の前の笑顔を作る活動など随時必要により行う。

①定住財団の「共生の森プロジェクト」令和3年1月で終了となるが、コロナ禍で、感染予防対策を行いながら、最後まで出来る範囲で実施し報告書をまとめる。

②3期コロナ対策支援として、急遽島根県NPO室の持続可能な社会貢献活動支援事業に、社会的弱者を支える分野で申請し「クリエイタープロジェクト」と「NPO継続支援事業」を採択され（助成金100万円）令和2年7月～令和3年3月、3・4期をまたぎ実施中であり継続し完了する。

③3期の活動の中で新たな地域課題も見つかり、中国5県新型コロナ対応緊急支援助成を受けて「支援ハウス de お仕事づくり事業」（助成金500万円）が始まる。4期の柱の活動に位置付け、令和2年11月契約書類に伴う規程類の整備、12月契約、その後令和3年9月までの予定で実行する。

④サロン活動の定例会は、コロナ禍に加えインフルエンザの季節となっているが、感染状況を見ながら、オンラインを活用し少人数で、月1回（第3日曜日午前中）に日時変更し行う。

⑤その他

- ・目の前の笑顔プロジェクト

その時々出会ったことに対して力を尽くしていく活動を続ける。

- ・ファーム：畑で命の循環を学ぶ活動
- ・マリン：海を楽しむ活動

上記、試行する。

また、地域活動(まちづくり)としては、引き続き男女共同参画、社会教育委員と

して、共生型を目指す NPO の代表として、デイサービス等事業に影響のない範囲で参加しまちづくりへ微力ながら提言を行っていく。

(3) デイとサロンの共同事業「あったか祭り」について

昨年度はコロナの為、縮小し、「夕涼み会」「秋祭り」として実行。今期は、コロナの情勢を見ながら、何らかの地域に開いた活動イベントを計画実行していくこととする。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の 日時、場所、 従事者の予定人数	受益対象者の 範囲 及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：円)
通所介護事業（ 共生型デイサー ビスお天気いい ね）	共生型デイサービス （地域密着型通所介 護・総合事業、共生 型生活介護、共生型 児童発達支援、放課 後等デイサービス）	月～土 9：00～16：55 浜田市熱田町1129-1 スタッフ：6～10名	定員1日15名	35,000,000
サロン活動 (予算のうち助成金)				
①共生の森プロジェクト（令和3年1月末まで）				
人材育成事業 支援啓発事業 ともいき交流活 動事業	講演会、ワークショ ップ、秋祭り等 季節の行事を取り入 れた定例会(芋ほり) 畑、遊歩道づくり、S STなど	月1回程度、土日 浜田市熱田町1129-1 スタッフ：3名	生きづらさを 抱える方々 支えたいと思 っている方々 1回10名まで	1,500,000 (1,000,000)
②持続可能な社会貢献活動支援事業（令和3年3月末まで）				
クリエイタープ ロジェクト	社会的弱者の若者支 援活動	週2～3日1～2時間 浜田市熱田町1129-1 スタッフ：2名	参加者3名	500,000 (500,000)
継続支援	コロナ対策、NPO活動 支援	随時 浜田市熱田町1129-1 スタッフ：2名	当NPO活動全体	750,000 (500,000)
③緊急コロナ対策中国五県休眠預金活用助成金事業（令和3年9月末まで）				

支援ハウスdeお仕事づくり事業	コロナで就職できない若者支援	令和3年1月～9月週2～3回2～3時間 浜田市熱田町 スタッフ：2名	各回参加者1～3名(月10名程度)	6,100,000 (5,000,000)
④定例会				
共生型交流サロン	地域の障がいの有無、年齢に関係なく参加できる活動	毎月1回第3日曜日午前中(10時～12時) 浜田市熱田町1129-1 スタッフ：2名	各回10名程度	180,000
⑤その他				
目の前の笑顔のために事業	随時	随時、必要な場所	生きづらさを抱えている人	20,000
ファーム畑で命の循環を学ぶ活動	畑作業、収穫、調理、販売など	随時 浜田市熱田町1129-2 スタッフ：2名	生きづらさを抱えている人	100,000
マリン海を楽しむ活動	浜田の海、千弘丸と協働体験試行	令和3年7月・8月 浜田港 スタッフ：2名	生きづらさを抱えている人	80,000
サロン活動 小計				9,230,000
デイ・サロン 合計				44,230,000